

公表

令和6年度保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		びいばらす押しスタジオ				公表日		令和7年 3月 7日	
						利用児童数		47	
								回収数 37 問15以降未回答 1	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	33	3	1	0	床が固くてすべりそう(すべる)。	転倒によるケガの防止について検討し安全対策を施してまいります。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	37	0	0	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	34	2	0	1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	37	0	0	0			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	36	1	0	0	・具体的で適切なアドバイスをいただけ て助かっています。 ・計画がわかりやすく、介入内容もわか りやすくて良かった。	個別支援計画と支援内容について丁寧に ご説明させていただき、ご家庭と一緒に 進めていけるよう取り組んでまいりま す。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	35	0	0	2		行なうプログラムについて理解を共有で きるよう進めてまいります。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	36	0	0	1			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	35	1	0	1			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	36	1	0	0		ご家庭との長短期目標に沿った支援を提 供してまいります。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33	4	0	0		年間、月案のテーマを基に個々のお子さ んの支援プログラムを作成しております。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	4	11	13	保育園に通っているので不要です。		
保 護 者 へ の 説 明	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	35	2	0	0		丁寧な説明を心がけてまいります。ご不 明な事などございましたら職員にお尋ね ください。また、専用の閲覧ファイルも 相談室に準備しておりますので確認など の際にご覧ください。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36	1	0	0		わかり易く丁寧な説明を心掛けてまいり ます	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	6	3	9	もう少し回数が多いと嬉しいです。	地域での研修やイベントについては掲示 物や配布にてご案内させていただきます 。また、ご家庭への支援についても年 1、2回開催できるように考えておりま す。その際は是非ご参加ください。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	35	1	0	0		保護者の皆さんがご家庭や他施設でお 子さんの様子をたくさんお話してくだ さり職員間で共有し支援に活かして おります。いつもありがとうございます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	34	1	0	1		毎回の報告の際や個別支援計画に沿った 面談や助言を行っておりますが、それ 以外でもお気軽にお申し出いただければ機 会を設けさせていただきます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34	0	0	0			

等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	9	5	10	・予定が合わず参加したことがありません。 ・もう少し回数が多いと嬉しいです。	年1、2回の開催を目標に今後も機会を設けてまいりたいと考えております。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	3	0	1		相談・苦情窓口については3か所の窓口をご案内させていただいております。相談内容により適当な窓口をご利用ください。それにより不利益になる様な事はありませんので安心してご利用ください。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33	1	0	2		保護者やお子さんとの対話を大切に、対話以外の意思表示の方法等についても配慮して取り組んでおります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	5	3	12		必要に応じホームページにより発信させていただきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	33	0	0	3		同意書の使用範囲内で取り扱いには十分に留意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	2	1	4	病院や119の想定に職員で個人差が少しある様に思う（少し不安）。	・ケガや急な体調の変化への対応について職員間で話し合い共有してまいります。 ・保護者へ各マニュアルの周知、説明はしておりませんが、建物からの避難経路及び避難場所については掲示、説明、利用案内等で示しております。有事の際には職員の指示に従い避難等の協力をお願いいたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	2	1	11		避難、救護、消火訓練を実施しております。また、水、食料、簡易トイレ等の備蓄品も備えております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	35	1	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	2	1	4		事故等（ケガ含む）必要な報告、記録、対応を行います。また軽度なケガ等についても保護者に十分に説明するよう心掛けてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	36	0	0	0	安心しています。	いつもありがとうございます。これからも子どもが安心して活動できる場所にしてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	35	1	0	0	合わない子がいますがそれでも楽しんでます。	保護者の皆さま 寒い日も、暑い日も、雨の日も毎回の通所（送迎）感謝申し上げます。 お子さんが楽しみにする色々なプログラムを準備してお待ちしております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	36	0	0	0	・大変お世話になってます！！ ・保育園訪問もあり、丁寧に対応してくれました。 ・◎	これからも必要な支援ができるよう職員一同取り組んでまいります。引き続きよろしくお願いたします。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	びいばらす押しスタジオ	公表日 令和7年 3月 7日
------	-------------	----------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動を分散しています。	活動クラス、内容により必要な備品や広さについて課題がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		職員全体で経験や知識、対応力を高め、子どもの状態に対応できるよう連携し行っています。	個別対応が重なってしまう際についての工夫が必要。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		刺激の無いシンプルな室内や特性に応じた視覚的サイン等を用いています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃とお子さんに合わせた環境と活動プログラムに応じた空間を準備しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じてブラダンの衝立やテント、個室などを利用し環境を保障しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		その都度全職員で確認、共有する機会を設けています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年評価をいただき職員で共有している。また、必要な改善に取り組んでいます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		支援後のミーティング、会議、個人面談により職員の意見が業務改善につながるようになっています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者評価(外部評価)は実施していない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に専門的なアドバイスや研修を受ける機会を確保しています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		公表していない。今年度内に公表を予定しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		全職員がアセスメントに参画して支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画は全職員が参画し、また、常に支援計画に沿って支援ができているか確認するようにしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画は全職員が参画し、また、常に支援計画に沿って支援ができているか確認するようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメント用紙を用いて確認しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		「本人支援」「家族支援」「移行支援」を中心に地域支援との連携も踏まえ設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		全職員が参画しています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		月案でテーマやねらいを決め、五領域を踏まえた個別段階的な活動プログラムを提供しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		その子の支援計画に沿った個別、小集団での活動を組み合わせ支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前と後にプログラムの準備、担当、お子さんについての状況や配慮すべき点など、ミーティングで申し合わせを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援前と後にプログラムの準備、担当、お子さんについての状況や配慮すべき点など、ミーティングで申し合わせを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		提供記録、面談記録を用いています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		概ね6か月1回以上、その他必要に応じ見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		全職員が対応できるようにしています。	相談支援事業所の会議へ参画については機会が無く今後その様な機会があれば参加したい。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		一部の保育園、幼稚園とはお互いを訪問見学等行い、情報共有や相互理解を図っています。	医療、教育との連携については理想的な状況ではない。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		一部の保育園、幼稚園とはお互いを訪問見学等行い、情報共有や相互理解を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		支援内容情報シートを作成し就学先への情報提供を行っています。	一方的な情報提供で就学後の様子については保護者からの情報に頼っている。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			センターからスーパーバイズや助言を受ける機会は設けられていない。今後は可能であれば設けていきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			機会を設けていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		ご家庭との対話を大切にしている。ご家庭やお出かけ先、他施設での様子や成長を感じた事などを話していただき、支援内容に活かしている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			支援センターや地域などの研修やイベントの情報提供のみになっている。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		見学、契約の際にお伝えできることは丁寧に説明するよう心がけています。	運営規定については閲覧ファイルの設置のみで個別丁寧に説明を行っていない。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		大切にしています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		丁寧にわかり易い説明を心掛けています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		希望や必要に応じた面談の機会を設けております。また、個別支援計画で相談支援を定期的に行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者交流会を開催しています。	十分ではない。今後機会を作っていきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情、相談の内容や日時等の記録を行なうとともに、社内で共有し迅速に適切な対応ができるよう努めています。	相談苦情窓口の説明のみです。対応の体制について子どもや保護者への周知まではしていない。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○		HPにより発信しているが定期的にはなっていない。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		保管、取り扱いに留意している。また、職員は「機密保持に関する誓約書」を制約を設けています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域に開かれた事業運営は図られていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		ご家族への周知、訓練は十分とは言えない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定している。また、都度、見直しや書き換えを行っています。	他事業者との連携と地域避難者救護の計画（連携、訓練）はしていない。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		基本情報シートに記載していただき確認しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		食事やおやつ提供が無い為、医師の指示書の提示を求めたりそれに基づく対応までは行っていない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	安全への配慮、ヒヤリハット収集により安全への配慮や対応をおこなっています。また、救命救護を含めた訓練や特定の職員は上級救命講習を受講しています。	安全計画としての整備は不十分の為、必要な措置を講じていきたい。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		安全計画に基づく取り組み内容について家族との連携や周知が十分に図られていない。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		共有し必要な場合の対応を行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止へ向けた情報の掲示を行うとともに、委員会を設けて研修や会議を行い、適切な対応に努めています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		臨時委員会により三原則（代替案）について十分な検討を行なうこととしています。また、必要に応じ個別支援計画に記載しています。		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	びいぶらす押上スタジオ		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月20日		～ 令和7年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	令和7年 1月20日		～ 令和7年 1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	本人が安心して活動することができる人的な環境があること。	安心や安全を保障した中で本人が表出できるようにすること。 また、その子の発達をベースを大切にすること。	支援者の学びを通して知識、経験を高めることでさらなる幅のある支援を目指すこと。
2	支援の内容や取り組みについて、ご家庭(保護者)の協力と理解があること。	対話と共有、共感を大切にしている。	地域での支援について、情報提供や連携できる取り組み。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域支援や小学校等との連携。	事業所だけの単独支援になっている点。	必要な支援や取り組みを共有や連携できる施設を少しずつ増やすこと。双方参観や意見交換の機会を増やす等。
2	グループペアレントトレーニングの提供。	グループ(プログラムとして)での家族支援の機会がない点。	クラス毎に実施するなどの工夫をして行うことも検討。
3			